

2013年6月27日

東急建設株式会社
代表取締役社長 寺田光宏様

株主 角田東一

株主総会 質問とお願い

- 1 前期に於かれましては、「上郷開発事業計画を廃止する」という、株主、東急建設、地権者、行政にとっても地球環境にとっても素晴らしい決断がありました。東急建設としては、約40年に及ぶプロジェクトの廃止は大変なご苦勞があったと推察しますが、困難を克服して英断されたご列席の役員の方々に敬意を表します。また役員監査役全員が、ESGスキルについて選定されている事にも、敬意を表します。つきましては、上郷開発事業の廃止に至った経緯等についてお聞かせください。

上郷開発計画跡地の活用についてですが、OECM的な保存を提案します。OECMは自然共生サイトとも言い、生物多様性を効果的かつ長期的に保全しうる地域として、環境省が登録を募集しています。そこで、OECM的な保存方法について、3つの方法について伺います。

- 2 東急建設又は東急グループで、OECM的な保存を行う。
跡地をOECMとして保存すれば、東急建設の企業価値が飛躍的に向上します。OECMには地権者の協力が絶対に必要ですが、上郷開発グループの社員は30年以上に渡り地権者と良好な信頼関係を築いています。OECM的な保存は、上郷開発グループ社員の経験を生かすことができる上スムーズな移行が可能です、これは東急建設にしかできない事であり、OECM的な保存は、地権者と30年以上良好な関係を築いてきた東急建設で行う事が最も良い方法であり、強く希望します。
- 3 東急建設と他企業が協同で、OECM的な保存を行うことも出来ます。
上郷開発計画跡地の活用について、OECM的な保存を希望している法人が複数あります。協同で行う場合、法人をご紹介します。
- 4 土地を売却する場合は、OECM的な保存を希望している法人に売却して頂きたい。
上郷開発計画跡地を売却する場合は、OECM的な保存を希望している法人に売却するようお願いいたします。その場合は、法人をご紹介します。
- 5 2項から4項について、貴社担当部門と詳細なお話し合いをしたいと思っておりますので、是非とも貴社窓口をご紹介しますようお願い申し上げます。

連絡先：認定NPO法人 ホタルのふるさと瀬上沢基金 理事長 角田東一
〒234-0054 横浜市港南区港南台9-30-31
E-mail：segamikikin@gmail.com Phone：090-6191-1861

株主総会 東急建設の回答

1 増田知也 取締役

熱海土砂災害、盛土法の変更、資材の高騰で中止した。現在、地権者と個別に協議中であり、今後の利用計画については、現時点では申し上げられないが地権者と横浜市と協議して跡地利用を決めていきたい。

OECMについても伺いましたが、現在はまだ何も決まっていない。

現地従業員は、今までも環境保全に携わっており、跡地利用についてまだ何か考えているわけではないが今後の保全に役立てていきたい。

2 寺田光宏 代表取締役社長

様々な問題発生で上郷開発は中止した。

跡地利用については、環境保全を最大の命題として取り組んでまいりたい。

現段階では何も決まっていないが、地権者、行政、地域の皆様と協議しながら決めていきたい。